

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域社会と共に日々の努力を惜しまず常に利用者様の人権を尊重し、自己決定による生活の営みを保障するよう努力する」を理念としている	○	地域の中でその人らしい暮らしを続けていけるよう、様々な機会を作っていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	不定期ではあるが、会議・勉強会で理念の確認を行い実践に取り組んでいる	○	定期的に理念を確認し、職員が共有し実践できるようにしていきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族にははなえみ便りを送り、地域の行事(運動会の見学や菊祭り等のイベントの観覧)に参加したことやその時の様子を知らせている。 地域へは、運営推進会議で報告し理解してもらえよう取り組んでいる	○	左記に同じ
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者の散歩や日光浴の時に、犬の散歩をしている隣近所の方と雑談したりすることはあるが、日常的な付き合いをしているという程ではない。	○	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会のイベントや老人会・地域活動への参加は現在まではしていない		

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行うことで、事業所のあり方、役割を再度確認すると共に、改善しなければならない点が見えてくることも多い。再確認と改善に取り組みたい	○	左記に同じ
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の様子、状況や毎月行っている行事の報告、実習生や地域の中学校の総合学習の受け入れ状況を会議で報告し、ご家族代表や地域の方から意見を頂き、より良いサービスを提供できるよう努めている	○	左記に同じ
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している		○	今後、学ぶ機会をつくりたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会や研修会への参加は現在まで行っていないが、虐待にならないか、身体拘束になっていないか、常に行道・言動を振り返り職員間で声を出し合えるよう注意している	○	思いやりの気持ちを忘れずに、利用者に関わり続けたい

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明時には、丁寧な説明を心がけており、ご家族の抱える不安等を少しでも軽減できるよう努めている	○	左記に同じ
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見・要望・不満・苦情をいつでも言ってもらえるよう信頼関係を築く努力をしている。職員会議やケース会議を開催し、それらを反映させるよう努めている	○	左記に同じ
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、通院時には利用者の日ごろの様子、健康状態、預かり金の確認等行っている。なかなか面会に来られない家族には電話で報告・連絡を行っている	○	左記に同じ
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見、要望は充分に聞く機会を作るよう努めている。重要事項説明時に当事業所・市の介護福祉課・国保連の苦情受付連絡先を伝え、文書でも明記している。玄関に苦情受付箱を設置している	○	苦情があった場合には、すみやかに対応し、運営に反映していきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の生活のリズムや希望、家族の要望に対応できるよう柔軟な調整を行っている。また、利用者の安全の確保を最優先に考え、職員の確保に努めている	○	左記に同じ
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動は必要最低限にし、なじみの関係、築き上げた信頼関係が損なわれないよう配慮をしている	○	離職を減らす為に、職員一人ひとりとコミュニケーションを図り、相談にのって長く勤めていけるよう配慮している

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社外研修に参加したり、社内の勉強会を開き人材の育成を進めている。	○ 左記に同じ
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実施していない	○ 同業者とのネットワーク作り、交流の機会を増やしたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間を使いコミュニケーションを図り、相談事のしやすい雰囲気作りをしている。ストレスを軽減できるよう、体調や悩み事を聞いたり、場合によって勤務体制の変更など配慮している	○ 左記に同じ
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スキル、経験のみならず職員一人一人の性格や家庭環境(事情)も考慮し、研修の機会を作ったり、目標を持ちながら働けるよう努めている	○ 左記に同じ
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に面談を行い、利用者本人の不安に応え要望を伺い、安心して利用していただけるよう努力している	○ 左記に同じ
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設を見学して頂いたり、ご家族の希望を伺い、不安を解消できるよう、分かりやすく丁寧に説明している	○ 左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人と、家族の状況を把握し、施設利用だけでなく、在宅の可能性も考慮し、広くサービスの利用も検討している	○	左記に同じ
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の見学は勿論のこと、体験利用なども勧め、少しずつ慣れていって頂けるよう配慮している。他の利用者とも早く馴染めるよう、ご家族とも相談しながら本人に合わせた対応を工夫している	○	左記に同じ
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活を共にする中で、家事などの作業を一緒に行い、余暇を一緒に楽しみ、生活の知恵や料理方法を教えていただくなど、お互いがお互いを必要とし合える関係にあります	○	左記に同じ
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会にいらした時には出来る限りお話しする機会を増やし、なかなかこられないご家族にはお電話で様子をお伝えし、共に協力し合い、利用者の生活を守り支えていけるよう関係作りに努めている	○	左記に同じ
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活されている様子をこまめにお伝えしたり、本人の気持ちや希望していることを代弁したりしながら、安心して生活できるよう配慮している	○	左記に同じ
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人の面会時には、利用者との時間を有意義に過ごせるよう配慮している。また、電話や手紙のやり取りを継続していけるよう支援している	○	左記に同じ
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事の席やリビングでの過ごし方、一人ひとりの個性も踏まえて、利用者同士が良好な関係を続けられるよう努めている	○	レクリエーションや趣味を通してもっと係わり合いが出来るよう努めていきたい

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	実施している	○	利用を終了してもいつでも相談できるような関わりを持ち続けたい
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族の話をよく聴き、意向の把握に努めると共に、ケース会議を開き介護スタッフからの情報を集めプランを作成している	○	左記に同じ
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に収集した情報のみでなく、本人や家族との日常の会話からも、生活暦やこれまでの生活環境などを伺い、その人らしい暮らしを継続していけるよう努めている	○	左記に同じ
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方や、夜間の睡眠状況なども把握するためにも、日々の申し送りや記録を大切にし、情報を共有し、共通したケアが行えるよう努めている	○	左記に同じ
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、介護スタッフや医療提携している医師や看護師からも、情報・アドバイスを頂き、利用者にとって、より安全に安心して、幸せに暮らすことが出来ようケアプランに繋げている	○	左記に同じ
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化がみられたり、入退院などあった場合には再アセスメントし、新たなケアプランの作成をしている	○	左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録をしながらも、新しい発見や変化、気づきは個別記録に記入し次のプランに繋げていっている	○	左記に同じ
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の学生の総合学習や職業体験の受け入れをしたり、警察(交番)・消防とも連携をとっている	○	左記に同じ
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の希望で他の施設へ転居される場合には、他のサービス事業者と協力し合いながら支援している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	特にしていない		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	実施している	○	

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	左記に同じ
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	左記に同じ
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	左記に同じ
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	左記に同じ
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	左記に同じ
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	左記に同じ



グループホーム はなえみ 大地ユニット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いには充分注意をしている。職員にも徹底し、言葉の乱れが無いが尊厳の保たれる言葉かけをしているか、常に注意をしている。	○ 左記に同じ
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が自分の思いを表出できるよう、日常から心がけ対応している	○ 左記に同じ
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活を入居後も継続していけるよう、本人のペースを守っている	○ 左記に同じ
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしさや、それまでの生活習慣を大切にしている。たとえば自分で化粧が出来なくなっても、介護員が毎朝お手伝いをし、女性らしさを継続していけるよう努めている	○ 左記に同じ
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを聞きながら、職員と利用者が一緒に献立作りをしている。配膳や片付けなども一緒に行っている。季節を感じられるよう、その時期に合ったメニューをお出しするよう配慮している	○ 左記に同じ
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの好みを伺いながら、飲み物やおやつを提供している	○ 左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンをチェック、把握し一人ひとりに合わせたトイレ誘導を行っている	○	左記に同じ
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望する時間帯を優先し、入りたい時に入れるよう調整を行い、気持ちよく入浴できるよう努めている	○	左記に同じ
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居住環境の見直しもしながら、本人の体調に合わせてゆっくり休息できるよう支援している	○	左記に同じ
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や得意なことを活かせるよう情報収集し、生き生きとした暮らしをしていけるよう支援している	○	左記に同じ
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族が希望されればおこづかい(お財布)を自分で持っていることが出来ると説明している。施設で預かる場合も、本人の希望によりいつでも出し入れできるようにしてある	○	左記に同じ
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、気温にもよるが、外へ出る機会を出来るだけ増やせるようにしている	○	左記に同じ
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の希望を聞きながら、外出の機会を作っている	○	左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでもかけられることを、普段から利用者の方達にお伝えしている。季節に合わせて暑中見舞いやクリスマスカードを送ったりしている	○	左記に同じ
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人、友人も立ち寄りやすい雰囲気作りと受け入れの態勢を整えている	○	左記に同じ
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○	左記に同じ
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	場所柄、外部からの侵入が無いとも限らない為、外玄関は内側から施錠している。居室は本人が希望する場合を除き施錠していない。事務室や台所なども出入りは自由になっている	○	左記に同じ
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげない見守りを行っている。夜間は定期的な巡回を行い、状況に応じて見守りを頻回に行っている	○	左記に同じ
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律に無くすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一律に無くすのではなく、必要に応じて使用できるようにしている	○	左記に同じ
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはつとを用いて、事故防止に取り組んでいる	○	左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的ではないが、応急手当や初期対応の方法などについて、職員間で話し合うなどしている	○	左記に同じ
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練は勿論のこと、毎日の施錠確認の際、避難口の開閉確認を行い、避難経路を意識させている。地域の方々には運営推進会議を通して協力を呼びかけている	○	様々な災害を想定し、訓練していきたい
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて家族または利用者本人ともよく話し、相談しながら抑圧感の無い暮らしを大切にしている	○	左記に同じ
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状態をしっかりと把握し、小さな変化を見逃すことの無いよう日々注意している。気づいた時にはすみやかにご家族や提携医療機関、主治医に連絡を取り対応している。	○	左記に同じ
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりが、どんな病気を持っているために何の薬を飲んでいるかを把握することも誤薬を防ぐ為の方法と考えている為、服薬内容表をいつでも見られる場所に置き、全職員に周知するよう努めている	○	左記に同じ
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立を作る時には食物繊維の多い食材を多く取り入れたり、便秘に効果があるといわれる果物をデザートにつけたり、便秘がちの方には毎朝ヨーグルトを食べていただき便秘を予防している。体操の時間を決めて、毎日身体を動かす機会をつくり、便秘の予防をしている	○	左記に同じ
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誘導や介助が必要な方には、食後に口腔ケアが行えるよう、準備、声掛け、介助をしている。自分で出来ることは出来るだけ減らさないよう支援し足りない部分をお手伝い、介助している	○	左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量をチェックしている。水分が不足しがちな方にはゼリーをすすめるなど、形態を工夫したり時間を変えてすすめるなど対応している	○	心身の変化に留意し、栄養摂取や水分の確保の支援をしていきたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症要望マニュアルに従い、いつでも対応できる状態にある。外から菌を持ち込まないよう、職員は勤務開始前に手洗いと手指消毒、うがいを必ず行って媒介者とならないよう注意している。面会者には玄関で手指消毒の協力をして頂いている	○	左記に同じ
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに従い、調理器具や冷蔵庫の消毒を行い衛生管理に努めている。食材の買い置きをせず、新鮮なうちに食べきれる量を購入している	○	左記に同じ
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	春～秋には花壇や野菜作りが玄関前で出来るよう整備し、水やりや野菜の手入れにいつでも出られるようお誘いしている。	○	左記に同じ
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く、安心して過ごせるよう配慮している。	○	左記に同じ
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの位置を工夫し、思い思いに過ごせるよう空間作りをしている	○	左記に同じ

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には出来るだけ馴染みの家具など入れていただき、落ち着いて過ごせるようご家族にもお願いしている	○	左記に同じ
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	適切な温度と湿度を保ち、風邪などの感染症が広がらないよう注意している。臭いにも気を配り、利用者に不快な思いをさせないよう注意している	○	左記に同じ
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や、車椅子でも安全に移動が出来る空間の確保をし、自分の力を活かしながら暮らしていけるよう工夫している	○	左記に同じ
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	リビングでのソファに座りゆったり過ごせる場所や、食事をする時の自分の席など、出来るだけ変えずに済むよう配慮し、『自分の場所』と、安心して過ごせるよう工夫している	○	左記に同じ
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	春には利用者と一緒に花壇作り、夏には野菜を育て、成長や収穫を楽しみにしながら、日光浴や外へ出での運動と活動の機会に繋げている	○	左記に同じ

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム はなえみ 大地ユニット

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)